

8月下旬、長野県長寿社会開発センター白馬グループが行つた白馬連峰登山口猿倉周辺の美化活動と引き続き行われた就労支援B型

フリー便風

呂田守男
301 (現場)からの風

事業所「クロスロード」白馬」のメンバーとの交流会が開催された。会長が交代しても、事務担当者が交代しても、会員が交代しても、事業は、本当に定着した本物の日常になつてゐる。参加者自らが社会活動に参加して活動する事が大切なこと白馬グループの会員の共通した思いだ。

7月中旬、長野県シニア大学大北学部の一一般公開講座で「地域活動の進め方とその実践」で4時間話す機会があった。余生を楽しむ社会から、自らが社会参加しなくては成り立たない社会の中で、

事業所「クロスロード」所を創つてほしいとの願いで話を進めた。国立社会保障・人口問題研究所の2017年の推計数値で今後の日本社会の予測を説明。団塊世代が全員75歳になると、限られた時間の中で乗り降りする電車。多くの人が階段で移動

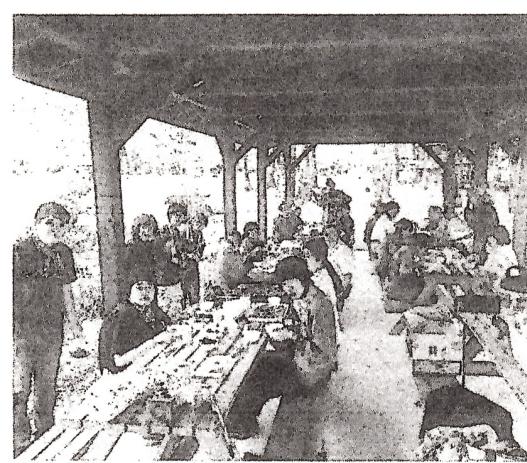
一人一人が自分の居場所を創つてほしいとの願いで話を進めた。国立社会保障・人口問題研究所の2017年の推計数値で今後の日本社会の予測を説明。団塊世代が全員75歳になると、限られた時間の中で乗り降りする電車。多くの人が階段で移動

者になると、運動能力が低下する。そこから考えられる社会は、現状の分割みが当たり前に立った社会が崩壊するので、自分に合った、その場所で必要とされる生き方をしてみませんか? 今日は、その第

ていかない事など。だからこそ、一つ一つの課題が、自分の課題であり、その社会の中で現実が待ち構えている。限られた時間の中で乗り降りする電車。多くの人が階段で移動

者になると、運動能力が低下する。そこから考えられる社会は、現状の分割みが当たり前に立った社会が崩壊するので、自分に合った、その場所で必要とされる生き方をしてみませんか? 今日は、その第

一步と話をする。いつも、シニア大学の高齢者が駅エレベーターを乗るために大行列。道路横断するためにはこれまで以上の時間と要する多くの高齢者。人口減社会を迎える。アメリカの心理学者が考案した「自分自身を考えよう」の課題。地域活動の第一歩に必要な「自



回を積み重ねる社会参加活動を待ってくれる人がいる事が、生きがいとなる

回を積み重ねる社会参加活動を待ってくれる人がいる事が、生きがいとなる

い、できなかつた事にチャレンジする事だ。そんな現場で出会えることを楽しみにしていい。そこを楽しみにしている。それは自らが社会に積極的に向き合

い、できなかつた事にチャレンジする事だ。そんな現場で出会えることを楽しみにしていい。そこを楽しみにしている。それは自らが社会に積極的に向き合